

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-217	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論 I 212-901	FACTBOOK English Logic and Expression I New Edition		

1. 編修の基本方針

教育基本法第2条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
	Unit 0 Get to know more about your classmates	自分の中学時代や好きなことについて伝え合う活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自主及び自律の精神を養う。(第2号)	pp.10-20
Part 1	Unit 1 Smart home, smart city	スマートシティーと自分の町の関係について伝え合う活動を通じて、創造性を養い、職業及び生活との関連を重視する。(第2号)	pp.22-31
	Unit 2 History and future of our town	移住体験をすすめる文章を書く活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.32-41
	Thinking Logically 1 The town you want to live in in the future	将来自分の町に住み続けるかどうかについて述べる活動を通じて、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養う。(第5号)	pp.42-46
	Making a Speech		pp.47-48
Part 2	Unit 3 Preparing for a natural disaster	防災の大切さを伝える活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.50-61
	Unit 4 Water supporting our lives	発展途上国が抱える水の問題について述べる活動を通じて、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.62-71
	Thinking Logically 2 Can you continue eco-friendly activities?	環境に配慮した生活を続けるために大事なことについて述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.72-76
	Q&A after a Speech		pp.77-78
Part 3	Unit 5 Save food you can still eat!	フードロス問題やフードバンクの活動について述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.80-91

	Unit 6 How can we become more health-conscious?	生活習慣についての意見を述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、健やかな身体を養う。(第 1 号)	pp.92-101
	Thinking Logically 3 What can we do to reduce food waste?	フードロスを減らすために大事なことについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.102-106
	Making a Presentation		pp.107-108
Part 4	Unit 7 How many clothes do you buy?	衣服と環境問題の関係について述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。(第 4 号)	pp.110-119
	Unit 8 How do you decide which products to buy?	フェアトレード商品について説明する活動を通じて、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第 3 号)	pp.120-129
	Thinking Logically 4 Think before you buy!	安価なシャツを買うかどうかについて述べる活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う。(第 2 号)	pp.130-136
Part 5	Unit 9 A variety of ways to improve your English	多様な英語の学び方やスタディツアーやについて話し合う活動を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培う。(第 1 号)	pp.138-149
	Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	外国人観光客が困ることやその解決策について述べる活動を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第 5 号)	pp.150-159
	Thinking Logically 5 How can we make our community foreigner-friendly?	移住してきた外国人に伝えることについて述べる活動を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第 5 号)	pp.160-166

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第 51 条第 2 号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」及び第 3 号の「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を目指して、特に以下の点に留意した。

- 文法については、最初に当該文法を用いるに相応しい目的・場面・状況を設定し、タスク活動を行った後から、その文法について学習するという「タスク先行型」の構成にすることで、言語活動と文法を効果的に関連付けて学習できるようにした。(Unit 0~10 の Speak 1, Speak 2)
- 日常的な話題や社会的な話題について幅広い視点からやり取りや発表、書く活動を行うことができるよう、SDGs (持続可能な開発目標) に関する話題を取り上げるとともに、生徒が身近な話題から SDGs について考えられるような場面・状況を設定した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
106-217	高等学校	外国語	論理・表現 I	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
212 桐原	論 I 212-901	FACTBOOK English Logic and Expression I New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- 基礎的な知識を確実に習得させ、これらを実際のコミュニケーションにおいて適切に活用できる技能をはぐくむために、中学校や高等学校における学習内容を、平易な内容からより難しい内容へと段階的に配列した。
- 公共の精神に基づき、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、SDGs（持続可能な開発目標）を参照しつつ、現代において解決すべき諸問題を幅広く取り上げた。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報や相手の考え方などを的確に理解し、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力を養うために、各課のトピックに関連した特定の場面・状況を設定し、明確な目的をもってやり取りができるタスク活動を豊富に用意した。
- 生徒が文法の規則を理解するだけでなく、それらをコミュニケーションの側面から捉えられるように、文法学習の前に、当該文法を使うに相応しい場面・状況を経験できる言語活動を行う構成とした。
- 生徒が言語活動に主体的・自律的に取り組むことができるよう、タスク後に振り返りの機会を設けるとともに、自己評価や自己改善に活用できる評価ループリックを用意した。

II. 教科書の構成

- 5つのPartから成り、各Partは2つのUnitと1つのThinking Logicallyで構成されている。各Partで共通のテーマを設けており、2つのUnitで学習した内容を、Thinking Logicallyでさらに深めることができる構成になっている。
- Part 1の前に、本教科書の導入としてUnit 0を設けており、自分自身について伝え合う言語活動を行う。
- Unitでは、タスク活動を行いながら、機能的な表現や文法事項を学習し、Can-Doで示された目標の達成に向けて取り組む。
- Thinking Logicallyでは、意見文のパラグラフライティングや、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションを学習し、Can-Doで示された目標の達成に向けて取り組む。
- Thinking Logically 1, 2, 3の後には、それぞれSpeech, Q&A, Presentationについての解説ページを掲載している。

III. 各課の学習の流れと編集上の留意点

[Unit 1~10]

・Can-Do!

当該Unitを通して英語でできるようになることを示し、学習の目的を明確化した。

・Small Talk

吹き出しの質問をヒントにペアで会話をを行うことで、スキーマを活性化し、当該 Unit で扱うトピックへの関心を高められるようにした。会話をスムーズに始めるための支援として、QR コードを通して導入用の動画を見られるようにした。また、QR コードを通して 2 種類のモデル会話を音声で聞くことができるようになった。

• Listen／Communication Strategies

同じスクリプトを 2 回聞き、1 回目のリスニングでは会話の要点を整理し、2 回目のリスニングでは会話内で使用されている談話方略（Communication Strategies）を確認できるようにした。

• Speak (1・2)

目的・場面・状況を設定し、ペアになって英語でやり取りを行う。巻末の Information Card を通して各自に別々の情報を持たせ、やり取りをする必然性が生まれるようにした。

• Reflection

1 回目のタスクを行った後に、うまく言えたことや言いたかったのに言えなかつたことを振り返るコーナーを設け、学習への動機づけを高められるようにした。

• Speak Again

Useful Expressions と Model Dialogue の学習を踏まえて再度タスクを行うことで、学習の成果を確認できるようにした。

• Useful Expressions

タスクを行う上で役立つ表現を整理した。文法学習ページとのリンクを設け、言語活動と文法学習を効果的に関連づけられるようにした。

• Model Dialogue

Useful Expressions にある表現を用いたモデル会話を掲載した。それぞれの発言の脇にその機能を示すことで、発言内容だけでなく、発言の意図や目的、会話の流れも確認できるようにした。また、モデル会話をより効果的に学習できるように、QR コードを通して会話内容を動画で確認したり、より易しい英語表現を用いた会話例を参照したりできるようにした。

• Extend the Dialogue

Model Dialogue を学習した後、そのモデル会話に続けて発言する活動を用意することで、談話を展開させる意識を持てるようにした。より効果的な活動ができるように、QR コードを通して動画で会話の展開例を演習できるようにした。

• Write

Speak と同様に、書くための特定の目的・場面・状況を設定した。インプットとなる情報は、読むことの負荷を減らすために、短い文章を分けて掲載するように配慮した。

• Write More

Write で書いた 1 文を 3 文程度の文章に膨らませる活動。まず例題に取り組ませた後、自分が書いた文を膨らませることで、文を拡張する力を無理なく身につけられるようにした。

• Write More +

Write More で書いた 3 文程度の文章を 5 文程度の文章に膨らませる活動。Write More と同様に例題を用意するとともに、膨らませる前と後の文章を比較できるよう注釈をつけた。

• Reflection

Speak と Write の一連の活動と学習を行った後、Can-Do で示されていた目標を踏まえて、自身でできるようになったことを振り返るコーナーを設け、学習への動機づけを高められるようにした。

• GRAMMAR

タスク活動で使用した文法を効果的に学習できるように、例文の右に Useful Expressions へのリンクを示した。Drills はタスクと同様の場面・状況に基づいた設問とした。Grammar in Context では、学習した文法をまとまりのある会話や文章の中で使えるような設問を掲載した。また、誤文訂正の問題を掲載することで、生徒が適切な文法の使用をより強く意識できるよう配慮した。

[Thinking Logically 1~5]

・ Small Talk

吹き出しをもとに会話をすることで、スキーマを活性化し、トピックへの関心を高められるようにした。

・ Logical Writing Tips

比較的平易な文章を例に、ライティングのポイントを確認できる設問を用意した。解説では誤りがちな例を紹介しながらポイントを示した。

・ Background Information for Thinking

論題について考える際に必要な背景知識を与えるコーナーを用意した。また、QR コードを通して、背景情報を英文で説明する動画を見られるようにした。

・ Analyzing a Discussion

論題についての思考を深めるためにモデルとなる議論を用意し、やり取りを詳細に分析できるようにした。

また、議論の内容を図を用いて整理し、整理した内容を意見文のライティングに活かせるようにした。

・ Write

論題についてパラグラフライティングを行うにあたり、Organizing, Outlining, Drafting, Improving の 4 つのステップを設け、段階を踏んでパラグラフを書けるようにした。

・ Model Paragraph A・B

設問を解きながら、モデルパラグラフの構成や内容を確認できるようにした。2 つのレベルを掲載することで、それぞれを比較しながら、どのような点を改善できるかを実感できるように工夫した。

・ Speech (Presentation)

ライティングの内容を踏まえてスピーチまたはプレゼンテーションを行う活動を用意した。

・ Information Sharing for Thinking (Thinking Logically 4, 5 のみ)

ディベート、ディスカッションを行うにあたり、議論のための情報を補うため、ペアで別々の英文を読み、その内容を共有する活動を用意した。

・ Debate / Discussion (Thinking Logically 4, 5 のみ)

Thinking Logically 4 ではディベート、5 では司会者を立てたディスカッションが無理なく行えるように、それぞれステップを踏んで準備をするためのページを用意した。

[その他]

- ・生徒が言語活動を行うにあたり、文を適切に作るための支援として、表見返しに基本文型や SVOC の応用文型を整理した図、「修飾と 2 つのルール」の例文・説明等を掲載し、容易に参照できるようにした。
- ・生徒が自身のライティングやスピーチを分析的に評価できるように、巻末に評価ルーブリックを掲載した。また、Unit での Small Talk やタスク活動など、やり取りを行う際に参照できる表現集 (Communication Strategies) を巻末に掲載した。
- ・生徒が教科書の活動や学習をより効果的に行うためのツールとして、QR コードを通して動画や音声、ワークシート等さまざまな情報を活用できるようにした。

2. 対照表

図書の構成・内容	内容				内容の取扱い	該当箇所	配当時数
	(1) 英語の特徴やきまりに関する事項	(2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項	(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項	①言語活動に関する事項	②言語の働きに関する事項		
Unit 0 Get to know more about your classmates	ア(ア)		ア(ア),	ア(ア), イ(ア)(イ)(ウ)(オ)	○	pp.10-20	4
Unit 1 Smart home, smart city	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.22-31	5
Unit 2 History and future of our town	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.32-41	5
Thinking Logically 1 The town you want to live in in the future	ア(イ)	ア, イ	ア(ア), イ(ア)(イ), ウ(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)	○	pp.42-46	3
Making a Speech	ア(イ)	ア, イ	イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.47-48	1
Unit 3 Preparing for a natural disaster	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.50-61	5
Unit 4 Water supporting our lives	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.62-71	5
Thinking Logically 2 Can you continue eco-friendly activities?	ア(イ)	ア, イ	ア(ア), イ(ア)(イ), ウ(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)	○	pp.72-76	3
Q&A after a Speech	ア(イ)	ア, イ	イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.77-78	1
Unit 5 Save food you can still eat!	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.80-91	5
Unit 6 How can we become more health-conscious?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.92-101	5
Thinking Logically 3 What can we do to reduce food waste?	ア(イ)	ア, イ	ア(ア), イ(ア)(イ), ウ(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)	○	pp.102-106	3
Making a Presentation	ア(イ)	ア, イ	イ(ア)(イ)	ア(ア), イ(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.107-108	1
Unit 7 How many clothes do you buy?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.110-119	5
Unit 8 How do you decide which products to buy?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.120-129	5
Thinking Logically 4 Think before you buy!	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ), ウ(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.130-136	4
Unit 9 A variety of ways to improve your English	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.138-149	5
Unit 10 How can we become foreigner-friendly?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), ウ(ア)	ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.150-159	5
Thinking Logically 5 How can we make our community foreigner-friendly?	ア(ア)(イ)	ア, イ	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ), ウ(イ)	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)	○	pp.160-166	4